

繪本豊臣勳功記五編卷之壹

江戸

八功舍徳水刪補

秀長先秀頬東西征羽波属先秀頬和

六上文紀  
赤井家在く  
藤山家藤す

水珠と懷のくハ媚たり。主良多とバ其邦モ少つち更ナリ。益小丹  
川八上の城主波多野右房の大夫秀治とふ者也。先祖ハ源氏大  
臣魚名公の苗裔田原兼太秀郷の後胤にして。波多野次郎義通が  
まかり。慈る小丹波の一國ハ元弘達武代孔後より。赤井波多野久下  
長澤の四家セキテ代々國中城割領セ一が中領より細川家の不領  
となり。波家臣内務守兼守元重も後代どうく執政をゆふ無にの  
ミだまつり。りづくも縦く鉢團とゆり。法事漫足弱を亡ぶ學ふあい  
て丹波の四家を遍に武威を極え争ひ波多野家小良將も主を赤井

属小西使者

属所讓船皮

赤井累遠約義所殿基内

脇坂甚内使款城说累遠

